入院診療計画書

下肢血行再建術を受けられる（　　）様へ

2　部　印　刷
1部：患者ファイル
1部：患者様用

病名　　年齢　　生年月日：　　薬剤師
症状　　受持看護師　　病棟　　管理栄養士　　リハビリ担当

日付	入院日（手術前）	手術日 術前	手術日 術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目～術後13日目（退院日）
	／		／	／	／	／	／	／	／	／	／～／
目標	手術の目的が理解できる 手術後の状態が理解できる		安静を守ることができる		創部の感染が起こらない 再閉塞がない				退院後の留意点が理解できる		安心して退院できる
食事		手術の当日は食事ができません 飲水は　時までできます		朝から食事（減塩食）が再開となります（状態に応じて治療食がでます） （手術が午後の場合は、昼から再開となります）							
安静度	自由です		手術の6時間後よりベッドを30～45度あげることができます	歩行可能となります 朝からベッドの横に立つことができます	病棟内を自由に歩けます →					自由です	
清潔	シャワー浴ができます	口に中をきれいにしてください 男性はひげを剃ってください		体を拭きにまいります ご希望があれば介助します							抜糸後に入浴が可能となります
排泄			手術室にて尿の管を入れます 手術後はベッドの上での排泄となります	尿の管を抜きます ポータブルトイレに座ることができます　（午前） トイレまで歩いて行くことができます　（午後）							
検査	入院日までに手術に必要な、血液検査、心電図、X線検査があります			血液検査があります						血圧脈波の検査があります	
治療		手術着に着替えます 点滴を開始します	継続点滴をします 酸素の投与を行います	酸素の投与を中止します	→	点滴を終了します				傷の消毒をします 抜糸します	退院できます
内服	現在内服しているお薬を確認します 21時 下剤を内服します		手術の後は医師の指示があるまで内服は中止となります	朝から内服再開になります							
リハビリ	リハビリを理学療法士に依頼します			リハビリが開始になります						理学療法士より退院後の日常生活について説明があります	
医師病状説明 内服指導 栄養指導 看護指導	入院時オリエンテーションをします 服薬指導をします お薬などのｱﾚﾙｷﾞｰ歴がある場合は医師または看護師にお知らせください		医師から手術の結果について説明します					血圧脈波について医師から検査結果の説明をします 栄養士による栄養指導があります		退院時説明をします	薬剤師から薬についての説明をします

※上記内容は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることもありますのでご了承ください
※ご質問等ございましたら気軽にスタッフへ声を掛けてください。

◇総合的な機能評価◇　☐ 評価対象外

・日常生活動作	☐ 問題なし	☐ 要経過観察
・認知機能	☐ 問題なし	☐ 要経過観察
・意欲	☐ 問題なし	☐ 要経過観察

※　特別な栄養管理の必要性　☑ 有　☐ 無

主治医　　印又は署名

私は、上記診療行為について、主治医から十分な説明を受けました。

　　年　　月　　日　患者　又は　親権者・親族等サイン　　（続柄